

有機野菜が健康であることを広め 家庭料理への活用してもらうために

八巻 成那^{*1}

指導教員：松岡 大地^{*2}

daichimatsuoka1@gmail.com

*1: 九里学園高等学校プログレスコース2年

*2: 九里学園高等学校

◎Key Words 有機野菜, 安全, 販路拡大, 情報発信

1 問題所在

現在、SDGs が広がっている今、有機野菜がメディアで多く取り上げて報道されている。「有機農業は、農業の自然循環機能の増進や環境に対する負荷が少ない生産方法に加え、食の安全・安心に対する消費者ニーズの多様化とともに地産地消や食育という観点から、世界的に関心が高まっている。」⁽¹⁾ (高島町, 2021) しかし、実際にスーパーマーケットで販売している有機野菜の品数は少ない。また、販売経路も少ない。農林水産省においても、2021年にみどりの食料システム戦略推進のための一つの方策⁽²⁾として、販路拡大を課題として挙げている。

販路拡大について、オーガニックビレッジ申請市町村のうち「39 地区の中で、学校給食への販路開拓や拡大を挙げている市町村が 29 に上る」⁽³⁾ (西村, 2023) ことが分かっている。そこで、学校給食について有機農家に実際にインタビューした。学校給食の販路拡大については、拡大したいと思っはいるが、学校給食に対して生産量が安定しないため厳しいと述べていた。一方で、有機野菜を若い世代にも食べてもらい、有機野菜の魅力を知ってもらいとも述べていた。

学校給食での販路拡大では、生産量が不安定なため向いていない。そこで規模が小さく、また若い世代に有機野菜の魅力を伝えられるような場として、産婦人科が適切だと考えた。適切だと考える理由は、残留農薬から見て有機野菜は健康的であるからである。鈴木 (2021) は、タイでは農薬である、パラコート (除草剤) やクロルピリホス、グルホサート (殺虫剤) を健康への悪影響が懸念されると 2019 年に所有自体が禁止されている。⁽⁴⁾ しかし日本ではパラコートとクロルピリホスの使用は禁止されておらず、多くの農家が依然として使用していると述べている。残留農薬は体内に蓄積するため、健康への影響は無視できない。

妊婦は、妊娠する前よりも健康意識が高まるため、有機野菜の健康面での魅力を伝える対象に適している。さらに産婦人科は学校よりも人数が少ないため、有機野菜の生産量が不足する心配は少ない。従って、有機野菜の販路拡大には産婦人科が適していると考えた。また、有機野菜を病院食に取り入れ、実際に食べてもらうことで有機野菜の魅力を感じられるのではないだろうか。

よって本研究の目的は、妊婦と胎児の健康にとって有効な有機野菜を安心して使用できることや、産婦人科を通して有機野菜の魅力を学んでもらうことを目的とする。本稿では有機野菜の魅力に関する情報発信に向けて、有

機野菜が病院食として実際に使用されているのか調査し、その理由を明らかにする。

2 病院での有機野菜使用状況について

(1) 調査方法

山形県内のどれくらいの産婦人科が、有機野菜を使った病院食を使用しているのかアンケートを用いて調査した。18施設に電話依頼したところ、11施設でアンケートを実施することができた。依頼文書を郵送し、有機野菜を使用した病院食を提供しているか、その理由も回答してもらった。なお、回答はQRコードからGoogleフォームで行ってもらった。

(2) 調査結果

提供していない病院が過半数を占めていた。過半数を占めた理由について調査したところ、以下の理由が挙げられた。

- ・流通が少ない。
- ・虫が異物混入になった場合や虫食いの葉があった場合嫌と感じる人が多い。
- ・規格や品質が一定ではない。
- ・有機野菜に関する知識不足。
- ・コストが高いと回答した。
- ・特にコストが高い

第1表 有機野菜を使用した病院食を提供しているか

している	2
していない	9

第2表 提供していない9つの病院

病院名	公立・私立	診療科
病院C	公立	婦人科
病院D	公立	産婦人科
病院F	公立	産婦人科
病院G	公立	産婦人科
病院H	公立	婦人科
病院I	市立	産婦人科
病院J	公立	産婦人科
病院K	公立	産婦人科
病院L	市立	産婦人科

有機野菜を使った病院食を提供している理由について、第3表の結果となった。これらから、提供していないところではコスト面を重視していたが、提供しているところでは安全安心を重視していた。安全安心を重視している理由についてインタビュー調査をした。

第3表 有機野菜を使用した病院食を提供している理由

病院名	メリット	デメリット
病院A	体に害がない	野菜に虫が食べた跡が残る
病院B	安全安心 地元の農家さん、業者さんと連携しているため、入手しやすい	時々虫がついている

(3) 病院へのインタビュー調査

協力者は産婦人科 B である。インタビューは以下の質問項目に基づき面接法で行った。

- ①なぜ有機野菜を取り入れたのか
- ②有機野菜を取り入れたメリット、デメリットは何か
- ③有機野菜を食した時の反応

(4) インタビュー結果

①なぜ有機野菜を取り入れたのか

営業して80年間たまたま仕入れたのが有機野菜だった。有機野菜の菜っ葉類を使用している。

②有機野菜を取り入れたメリット、デメリットは何か メリット：

一般的な野菜だとすぐに使用しないとしなすなになってしまうが、有機野菜は1週間日持ちし、パリパリ覚も残ること。

えぐみがないので食べやすい。

産婦は胎児を産んだ後に便通に悩むことがあるが、有機野菜が便通を良くしている。

彩りが良い。

料理に扱いやすい。

はじめは土からとれた有機野菜だったが、工業生産のものに変更した。

野菜は洗いとると、ビタミンが減るので、虫がついた有機野菜はしっかり洗わないといけなかったが、変更してからさっと洗うだけでよかったので、強みに変える事が出来た。

デメリット：

虫が付きやすい。

手間が掛る。

コスト面などであった。

③有機野菜を食した時の妊婦や産婦の反応

有機野菜を提供していること自体発信していないため不明である。

3 考察

病院Bは有機野菜の安心安全という魅力を患者に発信できていなかった。よって、多くの人に有機野菜の魅力を伝えきれなかったと考えられる。そのため、患者は慣行農業の野菜だと思って食べている可能性がある。これでは、有機野菜の関心や認識を高めることができないため、情報発信する機会を設けていくことが必要であると考えた。

4 おわりに

本研究は、有機野菜の魅力を、産婦人科を通して妊婦に学んでもらうことを目的とし、本稿では有機野菜に関するリーフレット作成に向けて、有機野菜が病院食として実際に使用されているのか、現状を調査した。

11つの病院のうち、2つで提供されていることが分かった。9つの病院では提供しない理由について、コスト面を挙げていた。一方で、2つの病院では安全安心を重視して提供していた。病院Bは有機野菜を提供していると患者に発信していなかった。患者に有機野菜の魅力をより発信していくために、発信する機会を設けることが必要だと考えた。

そこで今後は、リーフレットを作成し、病院食を提供している産婦人科で、有機野菜の魅力を発信する。病院食と共に、リーフレットを配布してもらえるように交渉していく。安全性や重要性を理解してもらうために本稿の調査結果と残留農薬について記載する。有機野菜に対する興味関心が広がっていくのかどうか検証していく。

謝辞

この論文の執筆にあたり、多くの方々にお力添えいただきました。特に以下の方々から感謝の意を表します。

まず、有機農家興農舎の方々に感謝の意を表します。彼らの貴重な時間と情報提供により、論文の内容をより充実させることとなりました。また、彼らの温かいご協力に心より感謝を申し上げます。

次に産婦人科の方々に感謝の意を捧げます。多大なご協力により、貴重なデータを収集し、本研究の目的をより明確に示すことができました。

最後に、九里学園高等学校プログレスコースの松岡先生、太田先生に深く感謝いたします。彼らの知識、貴重な助言、そして研究全体の指導より、本論文を完成させることができました。心から感謝いたします。

心からの感謝を込めて、謝辞を述べさせていただきます。本当にありがとうございました。

参考文献

- (1) 高島町役場(2021):高島町有機農業推進計画(令和3年度).
https://www.town.takahata.yamagata.jp/material/files/group/9/Organic_Agriculture_Promotion_Plan.pdf
- (2) 西村順二(2023):有機食料品市場の現状に見る有機野菜・果実市場展開の方向性と理論的拡張の可能性. 甲南経営研究 第63巻第3・4号.
- (3) 鈴木宜弘(2021):『農業消滅』,株式会社平凡社,114p.